

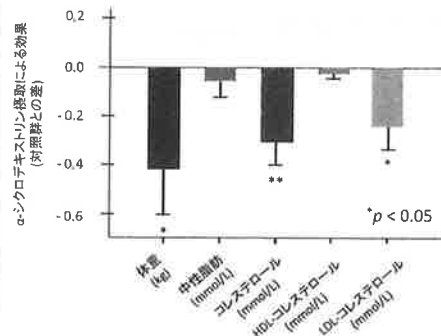
各社動向

α-オリゴ糖

「小型L DL」および「体重低減」で新たに届出

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、03-6262-1511)は、「糖類・糖質」として初めて機能性表示食品の関与成分となったα-オリゴ糖(α-シクロデキストリン、α-CD)を供給している。



後の血糖値上昇を抑えることが報告されています。

す」と表示される。機能性表示が可能となったことで、原料の引き合いも増えているという。

昨秋には、同じくα-CDを関与成分に「小型L DLの低減作用」で新たに届出を行った。

LDLコレステロールは悪玉コレステロールとも言われ、血液中の数値が上昇すると動脈硬化や冠動脈疾患を引き起こすと考えられてきた。

一方、近年の研究では、LDLコレステロールは直径25・5nmを境に大型と小型に分類され、真のリスク因子は「小型」であることが1方人を

対象としたコホート研究などで明らかにされている。

小型L DLを上昇させる要因として、インスリン抵抗性と中性脂肪が挙げられるが、α-オリゴ糖はヒト試験で血糖値上昇および中性脂肪の低減作用が認められており、2つのアプローチで小型LDLを低減させる効果があることもヒト試験で明らかとなっている。

小型L DLの危険性は医療関係者など専門家は知られているが、一般消費者の認知度はまだ低い。そのため、機能性表示を実現することで広く普及啓蒙していく考えだ。また、同社ではα-CDの「体重の低減」に関する

表示について新たに消費者庁に届出を行った。

体重の低減作用については、BMIが25〜30の健康な成人男女28人に脂肪を含む食事とともにα-CD2g(1日6g)もしくはプラセボを1カ月間摂取させたところ、α-CD摂取群ではプラセボと比較して有意に体重が減少したほか、総コレステロールおよびLDLコレステロールの減少も認められた「グラフ参照」。

すでに受理されている「食後血糖値の上昇抑制」に加えて「体重の低減」で機能性表示を行うことで、ダイエット向けの訴求力を一層強化していく方針だ。